

(様式第2号)

## 協働推進モデル事業計画書

※記載が複数ページにわたっても良いので、できるだけわかりやすく具体的に記載してください。ただし、この企画書はA4サイズ4ページ以内で作成してください。

提案団体名	団体名	特定非営利活動法人アートファーム (担当者 大森 誠一)			
	合同提案団体 (* 協議体・実行委員会等で提案される場合は構成団体をすべて記載してください。)				
協働する岡山市の 担当課等と担当者	課名	市民生活局文化振興課		電話	086-803-1054
	担当 2名	職名	課長補佐	職名	副主査
		氏名	友延 由紀恵	氏名	笠原 奈美
提案事業の名称	ひと・まち・つくるプロジェクト ~岡山市に誕生する新しい文化芸術施設のために~				
提案事業の目的	<p>岡山市が平成34年度の開館を予定している新しい文化芸術施設は、完成したハード(施設)のもとで、どのようなソフト(人と事業)を展開できるかによって、公立文化施設の社会的な意義や役割は決定されます。そのためには、今から準備に取り組む必要があります。</p> <p>とりわけ、当該計画が岡山市中心市街地の再開発事業であることを鑑みると、その緊要度は極めて高いと考えます。いわゆる劇場や舞台芸術が5年後、建設エリアである千日前地区に、あらかじめ“ある”わけではありません。さまざまな文化芸術と市民が出会い、そこから発見や創造や交流や対話が生まれることによって、この地区に建設されたハコが初めて劇場や舞台芸術に“なる”のです。</p> <p>私たちは、岡山市に誕生する新しい文化芸術施設が、広汎な岡山市民の方々から共感と期待をもって迎えられるように、文化芸術による多様な市民参加の機会を創り出し、魅力ある創造的なまちづくりへの機運を高めていくプロジェクトに取り組みます。</p>				

<p>解決をはかりたい課題の緊急性・重要性等（市民ニーズ含む）</p> <p>※ニーズ把握等で行った調査資料等がある場合は添付してください。</p>	<p>1. 解決をはかりたい課題と現状</p> <p>3つの重要な課題があると考えます。</p> <p>1つ目は、地域の課題です。</p> <p>建設エリアである千日前地区は、かつて中四国地方屈指の歓楽街として映画館や飲食店が集積していましたが、今では空き店舗と駐車場が目立ち人通りの少ない地区となっています。ここに5年後、創造支援機能を備えた大スタジオ・練習室と大・中ホールを有する新しい文化芸術施設が誕生します。この現状と展望の乖離こそが課題であり、その隔たりを克服していくことが行政に課せられた使命であり、文化芸術に与えられた公益の命題です。</p> <p>2つ目は、新施設の課題です。</p> <p>岡山市の「新しい文化芸術施設の整備に関する基本計画」に示されているように、その施設はいわゆる“創造型劇場”としての特性を備えています。そこでは、個人でも団体でも表現のスキルを磨いたり、公演の稽古に励んだりできる環境が整います。あるいは、そこから、岡山発の独創的な舞台芸術作品を国内外に向けて創造発信することも可能となります。こうした特性を備えた公立劇場は、岡山県下はもとより中四国地方でも先駆的な施策であり、その魅力について開館前から広く周知を図り、関心を高め、理解を求めていく必要があります。</p> <p>3つ目は、担い手の課題です。</p> <p>岡山市では平成28年度内に「文化芸術振興ビジョン」の改訂が進められており、その重点テーマとして「つくる」活動の支援が掲げられています。新たな振興ビジョンが制定され、新しい文化芸術施設が整備されても、「つくる」活動の担い手は市民一人ひとりであり、その多様な市民参加の機会を創り出してゆく必要があります。国籍や地域の隔たり、世代や性差の違い、異なるジャンルや表現、経験やハンディキャップの有無などを越えて、さまざまな市民が集い、協働による多文化共生や異分野交流が行われる創造都市・岡山の実現が期待されています。</p> <p>そして、本提案事業では、上記3つの課題を統合的に解決していくことを目標に掲げ、文化芸術を資源とした「ひとつづくり、まちづくり」のための拠点づくりに資するべく、持続可能なプログラムを実践してゆきたいと考えています。</p> <p>2. 市民ニーズ</p> <p>岡山市では、平成28年6月に「新しい文化芸術施設の整備に関する基本計画」が示され、その中で現在の主要施設の稼働状況が明らかとなっています。調査によると、建て替え対象施設の岡山市民会館や岡山市民文化ホール、あるいは表町の岡山シンフォニーホールの稼働状況は堅調な推移にあるものの、その多くは貸館事業で占められています。</p> <p>また、同年11月には「岡山市文化芸術振興ビジョン改訂版」の素案がまとめられ、その中で岡山市が2年ごとに実施している市民意識調査が公表されています。調査によると、過去1年間に文化芸術イベントを鑑賞・参加した市民の割合は調査開始の23年度から減少傾向にあり、なかでも、27年度に一度も鑑賞・参加しなかった市民の割合は51%に達しています。</p> <p>その一方で、アンケートに答えた半数近くの市民が「心のうおいや豊かさ」あるいは「子どもの心の成長」にとって、文化芸術がもっと身近になることを望んでいます。つまり、市民のニーズに応えられる鑑賞・参加の機会とプログラムに恵まれないことが、文化芸術を市民から遠ざけているといえます。</p> <p>新しく誕生する文化芸術施設は、こうした岡山市民の期待に応えられるものでなければなりません。人々の暮らしに寄り添いながら、地域のまちづくりと手を携えながら、参加する喜びや創造する豊かさを提供する施設でありたい。私たちの提案事業は、そうした市民ニーズを体現したプログラムとして計画されています。</p> <p>3. 課題解決の方策</p> <p>前項の課題提示において明記したように、本提案事業は、岡山市の新しい文化芸術施設にまつわる「地域の課題」「新施設の課題」「担い手の課題」を統合的に解決していく目標を掲げています。単に「芸術のための芸術」ではなく、文化芸術を資源とした「ひとつづくり、まちづくり」のモデル事業として取り組みます。</p>
--	---

<p>協働の必要性 及び効果と目標  (協働の役割分担を含む)</p>	<p>1. 協働の必要性と相乗効果 岡山市中心市街地の再開発事業として建設される文化芸術施設が、まちづくりにおいても、文化芸術の振興においても、魅力と将来性のあるスタートを切るには、地域、行政、文化芸術団体が協働し連携した取り組みが緊要となります。 NPO法人アートファームは、岡山市を拠点に創立から25年にわたり数多くのプロデュース公演やワークショップや劇場セミナーを企画・制作・運営してきた団体であり、岡山市の文化政策や公共政策との協働により、お互いの専門性とノウハウとネットワークを生かした相乗効果が発揮できると考えます。</p> <p>2. 提案団体が果たす役割 提案事業の企画・制作・運営全般におけるフィールドとスキル (実施内容の企画立案、担当課・講師・連携先・会場との調整、広報宣伝、当日運営、予算管理)</p> <p>3. 岡山市の担当課等が果たす役割 協働事業における行政としてのフィールドとスキル (広汎な市民参加の広報と周知、当該地域と提案団体との橋渡し、実施会場の確保、実施事業への帯同)</p> <p>4. 期待する事業成果・目標値等 本提案事業の最大のミッションは、新しい文化芸術施設の誕生に対して当該地域の人々や、広く岡山の市民県民に共感と期待と自信をもってもらうことにあります。もちろん、それを単年度で達成することは困難ですが、開館に向けてかかわる人を増やしていく、文化活動が特別なものではなく身近で楽しみ、自身のまちやくらしとどのようにつながっていくかを体験する機会を作ることで、文化芸術の公益性を育んでいくことができるのではないかと考えています。 また、本提案事業が、新しい文化芸術施設が建設される地域に、行政、アートNPO、地域が協働することにより、“新しい公共”を育み、“新しい社会モデル”を培うきっかけになることを目指しています。</p>
<p>事業の内容</p>	<p>【タイトル】 コミュニティ再発見ワークショップ</p> <p>[Aプロ] まちの暮らしをトレースしよう！</p> <p>内容：千日前・三丁目・西大寺町・京橋地区をはじめ中心市街地の“まち歩き”からスタート。 参加者はそれぞれの地域で見聞・取材した人々の“暮らしぶり”や“仕事ぶり”の様子をからだ（身体）とことば（声）で表現します。 参加者の身体と心にトレースされた地域との出会いは、参加者ひとり一人の体験や記憶として蓄積され、アート（舞台芸術）が人と地域（劇場）をつなぐ役割を果たします。 ※身体や声の表現は、マイム・手話・ダンス・独白・歌唱・声色…など様々に可能です。</p> <p>講師：小野寺 修二 (演出家、振付家、パフォーマー、カンパニー「デラシネラ」主宰。劇場から野外まで様々な劇空間で活躍。小中高校での巡回公演やワークショップも全国各地で実施。第18回読売演劇大賞最優秀スタッフ賞受賞。岡山では市内小学校での「ロミオとジュリエット」公演や犬島での「URA-SHIMA」公演などを演出)</p> <p>展開：2年目はそれをダンス化し、3年目はさらにその舞台化に挑みます。</p> <p>[Bプロ] まちの記憶をカタチにしよう！</p> <p>内容：千日前・三丁目・西大寺町・京橋地区をはじめ中心市街地の“まち歩き”からスタート。 参加者はそれぞれの地域で見ついたり出会った“ヒト・モノ・コト”を記録したり採集してそれを参加者ならではの手法や素材を用いてカタチにします。 参加者の目と心により活写した地域との出会いは、造形というカタチとなって表現され、アート（舞台芸術）が人と地域（劇場）をつなぐ役割を果たします。 ※記録や造形の方法は、絵・素描・写真・映像・オブジェ・音…など様々に可能です。</p> <p>講師：カミイケ タクヤ (舞台美術家。平面、立体造形、インスタレーションなど作品は幅広く、特に錆や腐食、廃材など時間の経過を表象したモチーフが出色。演劇からコンテンポラリーダンスまで話題の舞台を多数手がける。香川県在住)</p> <p>展開：2年目はそれを舞台美術化し、3年目はさらにその上演に挑みます。</p>



### 協働事業収支予算書

<b>提案事業名</b>	<b>ひと・まち・つくるプロジェクト</b> ～岡山市に誕生する新しい文化芸術施設のために～
--------------	--

<収入>

費目		金額	内訳
自己資金等	申請団体自己資金	940円	年間事業費より拠出
	合同提案団体負担金等		
自己資金等合計(a)		940円	
事業収入見込	ワークショップ参加費(全8回)	155,000円	小野寺クラス 1,000円×20人×4回=80,000円 カミイケタクヤ 1,000円×15人×5回=75,000円
	助成金・協賛金	100,000円	
事業収入見込合計(b)		255,000円	
岡山市補助金申請額(c)		520,000円	
収入合計(d)=(a)+(b)+(c)		775,940円	

<支出>

費目		金額	内訳
事業実施経費	ワークショップ講師報償費	290,000円	小野寺修二 35,000円×4日間=140,000円 カミイケタクヤ 30,000円×5日間=150,000円
	ワークショップ講師交通費	81,440円	小野寺修二(東京・岡山往復)34,680円×2回=69,360円 カミイケタクヤ(高松・岡山往復)3,020円×4回=12,080円
	ワークショップ講師宿泊費	32,000円	小野寺修二 8,000円×2泊=16,000円 カミイケタクヤ 8,000円×2泊=16,000円
	消耗品費	30,000円	掲示物作成、名札、紙類・材料等、ケータリング
	印刷費(デザイン費を含む)	90,000円	チラシ 80,000円、資料 10,000円
	通信運搬費	25,000円	岡山市の広報ルートを最大限に活用します。 アートファームのDM送付は対象者を該当事業に絞り込みます。
	使用料・賃借料	30,000円	会場使用料(8回分、附帯設備使用料を含む)
	記録費	30,000円	録画・録音の人件費を含む
	人件費	67,500円	運営スタッフ費 1回 2,500円×3名×9回=67,500円
	委託料	100,000円	プロット(企画・制作・運営費) 100,000円
事業実施経費合計(e)		775,940円	
管理経費		0円	
管理運営費合計(f)		0円	
総事業費(g)=(e)+(f)		775,940円	※収入合計(d)と同額

(添付書類等) 1. 人件費等については、積算の根拠(これまでの実績や独自の単価表)を添付すること  
 2. 参加料などの事業収入を見込む場合は「事業収入見込」欄に計上すること